

かしこいクルマの使い方

Vol.2

藤井 聡



歩く暮らし、
歩かない暮らし

皆さんは、次の質問にどのような答えになりますか。

「どれくらいまでなら、クルマを使わずに歩きますか？」

1 km、2 km、それとも数百mくらいでしょうか。

実は、この距離は国によっていろいろちがうようです。例えば、スウェーデンの人達はおおよそ「1.8 km」程度までなら歩くとのこと。時間しておおよそ20〜30分です。ところが、アメリカではそれより短い「1.3 km」程度までしか歩かないようです。この違いはどこから来たのでしょうか？

その答えは、「普段の「生活習慣」の違いにあります。スウェーデンでは、普段からバスや市電を使い、駅やバス停まで歩く人が大半でし

た。でも、アメリカでは、歩くと言えば、駐車場に行く時くらいで、何をするにしてもクルマを使っていたようです。

そうなのです。普段からクルマばかりを使っていると、ついついちょっとした距離でも歩くのが面倒になってしまつたのです。

「歩くのが健康に一番」

よく耳にする言葉ですが、そのココロはここに隠されています。

私たちは、「歩けば歩くほど、楽に歩けるようになる」のです。そしてなんと言つても「徒歩20分はジョギング10分」の運動に相当します。つまり、私たちは、無理をして運動などしなくても、少し歩くように心がけるだけで、十分健康的な暮らしをすることが可能です。

「ちりも積もれば山となる」

時には、クルマの鍵を置いて、ちよつと歩いてみるのも良いかもしれませぬ。

△ふじい・さとし△

東京工業大学助教授。1968年奈良県生、京都大学卒業。フジテレビ「交通バラエティ・日本の歩き方」2003〜2004年を監修・出演。JAFMATE「交通百葉箱」2001〜2002年に連載。

世界バス紀行



中村 文彦

大きなバスは、電車に負けない

普通の路線バスというのは、長さがおおよそ10mちょっとあって、幅が2.5mで、乗客が70人前後乗車できるものをイメージします。しかしながら、世界にはいろいろな大きさのバスが走っています。もっとも有名なのはロンドンの2階建バスですが、定員が多く、また2階からの眺めがよいので、ロンドンっ子には大人気です。

もっと大きなバス、といっても3階建ではなくて、長い長いバスがあります。前回にも一言触れたブラジル連邦のクリチバ市のバスは全長25mで定員も270人です(写真)。途中で節が2つあるので3連節バスと呼ばれています。どうしてこんなに大きなバスが必要なのでしょう。クリチバ市では、地下鉄を建設する財政的な余裕がなく、バスによって、地下鉄に匹敵する程度の輸送力を確保しようと考えました。彼らの提案は、前回お話しした専用の道路、次々回お話しするかなりかわったバス停、そして今回紹介した定員の多いバス車両を組み合わせた輸送力がちょっとした鉄道なみのシステムです。

日本では、これよりは若干短いです。節がひとつある全長18mの連節バスが、現在では千葉市と藤沢市で運行しています。交差点の隅切り^(注)の見直しや橋梁の桁の補強などを行って通行が許可されています。大きなバスの存在感というのは、実は都市の中ではインパクトがあります。次回は小さいバスのお話ししましょう。



クリチバ市の連節バス



藤沢市を走る「ツインライナー」

中村 文彦 (なかむら ふみひこ)
横浜国立大学大学院環境情報研究院教授、
東京大学卒業。専門は都市計画、都市交通計画、公共交通政策など

注) 隅切り：交差点の角の丸みのこと。丸みの半径が大きいほど、大きい車両でも曲がりやすい。

こたえ

う	み	べ	り
う	ん	ん	し
ち	り	り	ゆ
は	ん	ど	い
い	あ	か	が
く	あ	さ	き
	る	さ	ぬ